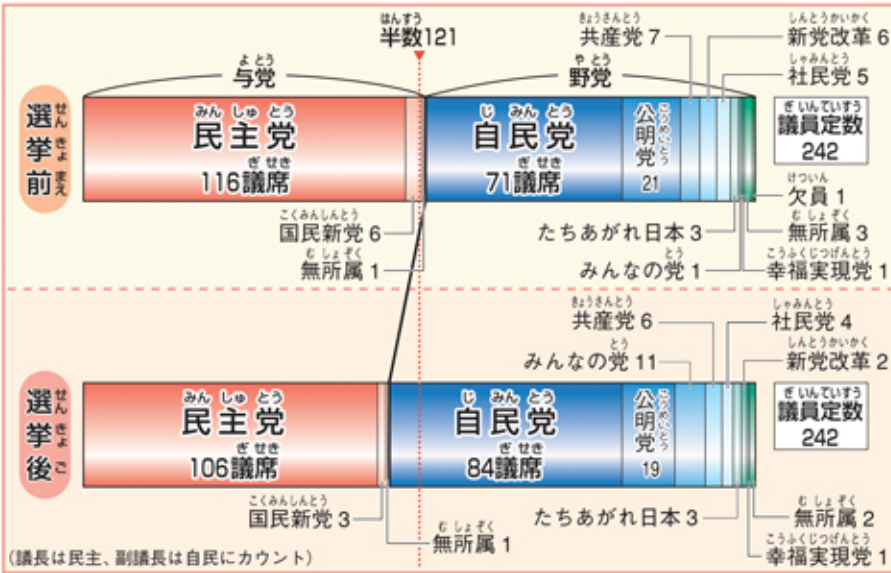


民主党敗北、過半数割る



第二十二回参議院議員選挙の投票が十一日に行われました。開票の結果、菅直人政権を支える民主党は四十四議席しかとれず、五十一議席の自民党に敗れました。参議院は三年ごとに半数にあたる百二十一人を選びますが、今回選挙がなかった議員を合わせると、民主党は百六議席、ともに政権を支える「与党」の国民新党などと合わせても半数を超えることはできませんでした。今回の選挙結果はどのような意味があるのでしょうか。朝日新聞論説委員の松下秀雄さん写真IIが解説します。



参議院選挙を終えて 朝日新聞論説委員の松下秀雄さんが解説

消費税もつと議論を

政府は節約の姿勢見せて

去年、自民党から民主党に政権交代した。初めての大型国政選挙でした。民主党と国民新党などの与党の議席は百十議席と過半数を大きく割りこみました。これは、思うように法律を作れないことを意味します。菅政権にとつては、きびしい結果です。

最大の焦点は消費税増税。今年度の国の予算は九十二兆円使う一方、税金による収入は三十七兆円しか見こめず、四十四兆円借金をする予定です。家庭なら月収三十七万円なのに九十二万円も使うなんて考えられませんか。

今後はますますお金が必要。民主党敗北の開票結果を受けて記者会見する菅直人首相

最大の焦点は消費税増税。今年度の国の予算は九十二兆円使う一方、税金による収入は三十七兆円しか見こめず、四十四兆円借金をする予定です。家庭なら月収三十七万円なのに九十二万円も使うなんて考えられませんか。

今後はますますお金が必要。民主党敗北の開票結果を受けて記者会見する菅直人首相

なので、増税の議論は進めざるをえないと思います。菅首相も選挙後「ぜひ協議の場を作るよう呼びかけた」と述べました。選挙結果を踏まえて、ていねいに増税の必要性を訴え、政府や国会議員が節約している姿も見せて、理解を得る努力を重ねる必要があります。

政治は今後どう変わるのでしょうか。その前に参議院について考えましょう。国会には衆議院と参議院があります。どんな法律や予算を作るのか、二つの院で慎重に議論するねらいがあります。ただ、二つの院の意見が食い違って何も決められないと困るので、それぞれが持つ権限は異なります。首相選出は衆議院の決定が優先されるので、衆議院で半数を超える議席を持つ勢力から首相が選ばれる。参議院選挙で負けないわけではありません。実際、菅首相は今後も首相を続けると話しました。ただ九月には菅首相の民主党代表としての任期が切れるので、代表選が行われます。今回の選挙をきっかけに首相への批判が強まれば、対立候補が出て代表が

要になります。日本ではお年寄りが増えていくため、年金や医療などにかかる費用が毎年一兆円も増えます。また、子どもが少ないので、子育てをしやすく、教育を受けやすくする投資も欠かせない。かといって借金を重ねては、いかお金を貸してもらえなくなる。だから増税の議論を始めようと思ったのです。

しかし、民主党は負けました。やはり増税を掲げた自民党が議席を伸ばしたので、単純に「有権者は増税反対だ」とは言えません。ただ大きな政党は二つだけなので、増税はいやだという人が、政権を担う民主党への批判をこめて自民党に入れた可能性もあります。増税への理解が広がらなかつたことは事実でしょう。財源が足りないのは明白

法案成立させる力弱まる／政策ごとに野党に協力を呼びかけ

代わるかもしれない。もしそうならば、おそらく新代表が首相になるでしょう。首相が代わらなくても、政治の自身は変わらざるをえません。首相選出とはちがいで、法律は参議院が反対したら、衆議院でもう一度採決して三分の二以上が賛成しない限り成立しません。与党は衆議院では三分の二に足りず、参議院でも半数を超えられなかったため、このままでは法律を成立させる力がありません。

そこで、政権に批判的な「野党」の一部に「与党に加わってほしい」と頼んだり、政策ごとに協力を求めたりする必要があります。すると、協力してくれる人の意見を法律案にとり入れなければなりません。首相は政策ごとに協力を求める考えですが、うまくいくかどうか。野党の出入りによっても、政権や日本の行方が変わりそうです。

代わるかもしれない。もしそうならば、おそらく新代表が首相になるでしょう。首相が代わらなくても、政治の自身は変わらざるをえません。首相選出とはちがいで、法律は参議院が反対したら、衆議院でもう一度採決して三分の二以上が賛成しない限り成立しません。与党は衆議院では三分の二に足りず、参議院でも半数を超えられなかったため、このままでは法律を成立させる力がありません。

そこで、政権に批判的な「野党」の一部に「与党に加わってほしい」と頼んだり、政策ごとに協力を求めたりする必要があります。すると、協力してくれる人の意見を法律案にとり入れなければなりません。首相は政策ごとに協力を求める考えですが、うまくいくかどうか。野党の出入りによっても、政権や日本の行方が変わりそうです。